令和２年度　租税教室中高生用シナリオ

公平な税制を考えてみよう（グループ討議版）

| 項 目（時間配分） | 講 義 内 容 | 備 考 |
| --- | --- | --- |
| 自己紹介（１分） | 　皆さん、こんにちは。私は、●●●●の●●といいます。●●●●で、●●の仕事（活動）をしています。【主な自己紹介の内容】・　所属する組織（団体）名、仕事（活動）内容・　その他（出身中学(高)校・中学(高校)生時代の話など）※　自分の名前は黒板に書く（横書きで板書）。今日は、グループワーク（討議）をしながら「公平な税制」について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。皆さんに「公平な税制を考えてみよう」というプリントをお配りしましたが、皆さんありますか？ありますね。 | 生徒にプリントを配付する。黒板又はホワイトボードを使えるようにしておく。　生徒を４人程度のグループに分ける。　グループ名は、１班、２班…など任意の名称にする。 |
| ワーク１（７分） | 　では、さっそくワーク１を始めましょう。突然ですが、このクラスを“●●●国”（担任の先生の名前などにしてもよい）と名付けます。　“●●●国”は、とても小さな国で、国民は４人です。そして、国の真ん中には、大きな川が流れています。　川は国が管理しています。　川の反対側にいくためには「渡し船」しかなく、学校や職場に通うのも買い物に行くのにも大変不便でした。そこで、国民全員が川に橋を架けることを要望し、橋を架けることになりました。　橋を架けるためには、1,200万円が必要だということが分かりましたが、どうやってこのお金を集めたらいいでしょうか。前提条件として、国民の一人ひとりの収入は1,000万円ずつで、橋が完成したら国民全員が等しく生活に利用します。なるべく公平に集めたいと思います。　では、各グループで費用の集め方を話し合ってもらいます。後ほどグループごとに出した結論を発表してもらいますので、まず、グループを代表して発表する人を決めてください。発表する人を決める方法は、立候補でもじゃんけんでも何でもかまいません。皆さんに任せます。では始めてください。発表する人が決まったグループから、橋を架ける費用の集め方を話し合ってください。制限時間は１分です。　はい。では時間ですので、どこか１つのグループに発表してもらいましょう。発表したい人は手を挙げてください（１つのグループに発表してもらう）。 【意見の例】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国民 | 収入(所得) /年 | 税金 | 残り |
| Ａ | **1,000万円** | 300万円 | 700万円 |
| Ｂ | **1,000万円** | 300万円 | 700万円 |
| Ｃ | **1,000万円** | 300万円 | 700万円 |
| Ｄ | **1,000万円** | 300万円 | 700万円 |
| 合計 | **4,000万円** | **1,200万円** |  |

　　一人300万円ずつ集めて橋を架けるという意見がでましたね。　収入（所得）1,000万円に対して集めるお金が300万円ですから、所得に対する費用負担割合は30％ということになりました。　プリントに、あらかじめ表を載せておいたので、おそらく皆さんは、国民から税金を納めてもらうと考えたのですね。もしも、表がなかったら、税金という方法のほかに、例えば、寄付金を募ったり、●●●国が銀行から借金をして橋を造る、または国民に通行料を払ってもらうなどのアイデアも出たかもしれませんね。 | 黒板に川の絵を描いて、生徒がイメージしやすくする。すぐに決まりそうになければ、じゃんけんする。1,200万円の費用を４で均等割りして各人300万円を負担するという解答が予想される。異なる意見であれば「なるほど、そういう考え方もありますね」と述べ、決して生徒の意見を否定せず、もう１グループに発表してもらう。 |
| ワーク２（１５分） | 　では、国民の一人ひとりの収入が異なる場合は、どうでしょうか。プリントのワーク２の表のとおり、Ａさんは2,000万円、Ｂさんは1,000万円、Ｃさんは700万円、Ｄさんは300万円の収入があります。なるべく公平に集めたいと思います。どのように集めればよいでしょうか。ワーク１の考え方では、全員300万円の税金を納めることになりましたが、ワーク２では、その考えのままだとＤは税金を納めれば残りが０円になり、生活するためのお金がなくなってしまいます。では、どのように集めましょうか。制限時間は５分ですので、グループで話し合ってください。各グループ４人以上いますから、みんなが国民ＡさんからＤさんになって、その人になったつもりで意見を出してみてください。　●時●分になったら、どのように集めたらよいか各グループの意見を発表してもらいます。発表時間は、各グループ１分でお願いします。　時間になりましたので、●班から順に発表してください。【意見の例】（30％ずつ集める）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国民 | 収入(所得) /年 | 税金 | 残り |
| Ａ | **2,000万円** | 600万円 | 1,400万円 |
| Ｂ | **1,000万円** | 300万円 | 700万円 |
| Ｃ | **700万円** | 210万円 | 490万円 |
| Ｄ | **300万円** | 90万円 | 210万円 |
| 合計 | **4,000万円** | **1,200万円** |  |

（討議中に、各グループの意見を記入できるように、黒板等に適宜、下表のような表を書いて準備しておくのもよい。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国民 | 収入(所得) /年 | 　　　　　税金 |  |
| １班 | ２班 | ６班 |
| Ａ | **2,000万円** | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｂ | **1,000万円** | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｃ | **700万円** | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｄ | **300万円** | 万円 | 万円 | 万円 |
| 合計 | **4,000万円** | 　1,200万円 | 1,200万円 | 1,200万円 |

　いろんな意見がでましたね。なるべく公平に集めるためには、どの方法が適しているのでしょうか。 | 　小ホワイトボードがある場合は各グループに記入させる。　ない場合は、黒板、ホワイトボード又は講師が準備した用紙に記入させる。 |
| 累進課税制度（３分） | 日本の所得税では、所得が多い人が多くの税金を納める（高い所得ほど税率が高くなる）累進課税制度という方法がとられています。皆さんは、もう授業で習いましたか？「参考」プリントを見てください。《 累進課税制度 》累進課税制度とは、課税される所得金額が大きくなるほど税率が高くなる制度です。 （令和元年分）　課税所得が2,000,000円の場合・　1,950,000円×５%＝97,500円・　2,000,000-1,950,000＝50,000円　　50,000円×10%＝5,000円・　97,500円＋5,000円＝102,500円（参考）（令和元年分） |  |
| ワーク３（２０分） |  では、次にワーク３です。ワーク２をもう一度考えてみましょう。　今回のワークでは条件を新たに１つ加えます。“●●●国”では、健康で文化的な生活をしていくためには、最低でも国民一人当たり年間240万円が必要です。少し時間を取ります、グループで相談してみてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国民 | 収入(所得) /年 | 税金 | 残り≧240万円 |
| Ａ | **2,000万円** | 万円 | 万円 |
| Ｂ | **1,000万円** | 万円 | 万円 |
| Ｃ | **700万円** | 万円 | 万円 |
| Ｄ | **300万円** | 万円 | 万円 |
| 合計 | **4,000万円** | 万円 |  |

●時●分になったら、前のホワイトボードに国民全員からどのようにお金を集めたらよいか、結果を書きに来てください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国民 | 収入(所得) /年　 | 　　　税金 |  |
| １班 | ２班 | ３班 | ６班 |
| Ａ | **2,000万円** | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｂ | **1,000万円** | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｃ | **700万円** | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| Ｄ | **300万円** | 万円 | 万円 | 万円 | 万円 |
| 合計 | **4,000万円** | 万円 | 　万円 | 万円 | 万円 |

それでは時間になりましたので、発表者の人は前に結果を書きにきてください。 | 便宜上、収入＝所得とし、所得控除のことは考えない。税法上の税率を適用せず、自由に税率を仮設定してよい。討議中に黒板等に記入表を準備しておく。　グループに小ホワイトボード等を配付して記入させてもよい。 |
| まとめ（２分） | 　いろんな案がでましたが、実は、この問題には正解がないんです。　所得税のような累進課税方式だけでなく消費税のような方法を組み合わせるやり方もあるかもしれません。　このワークでは、国民一人ひとりが少しずつ所得金額に応じた費用を負担して橋を架けましたが、国民の生活を便利にしたり、安心、安全な生活を送ることができる社会を実現するためには、その財源として「会費」のような税金が必要です。　このワークをとおして分かってもらえたと思いますが、自分だけでなく他の人も幸せになれるような社会が求められます。 みんなの負担とみんなが受ける利益は、当然みんなが納得できるような公平さが求められます。　１８歳になったら皆さんは選挙権を持ち、選挙で国会議員や地方の議員を選ぶことになりますが、税金の集め方やその使い道は国会や地方の議会で決定しています。 　選挙に立候補した人が、当選したら税金をどのように集めて、どのようなことにその税金を使おうと考えているのかなど、今日の租税教室をきっかけに、なぜ税金が必要なのかなどのニュースや新聞記事にも注目してほしいと思います。そして、皆さんが大人になったときに、そういえば、中学校（高等学校）の税金教室で税金の負担方法についてみんなで考えたなと思い出してもらえたらとてもうれしいです。 |  |
| 質問（２分）計５０分 | 最後になりましたが、税に関することで何か質問はある人はいますか（即答できなければ後日回答する）？それでは、これで租税教室を終わります。これからも勉強やスポーツを頑張ってください。今日はどうもありがとうございました。 |